



VOL.42

「桂川っ子」の文字は、
 桂川中学校美術部員が
 デザインしたものです。

「ふんも伸びる」

桂川町教育委員会

教育長 穂坂 和義

先月号の「算数道場」の続きです。今年度から県教育委員会が実施する「算数・数学強化推進事業」に町内の小・中学校が参加しました。小学校は5年生、中学校は1年生が対象で、基本的には自由参加ですが、夏休み中に実施されたこともあって、中学校では全員が参加しました。また、桂川・桂川東の両小学校とも参加率は高く、ほとんどの子どもがこの授業を受けました。そして、参加した全員の成績が伸びています。

一つの学年をその学校の先生全員で指導するため、個人指導に近い少人数学習ですので、効果も抜群です。何の教科であれ、子どもへの理解力には個人差があります。もう一度詳しい説明をしたり、あきらめずにもう一度挑戦するなど、じっくり取り組めば、どの子も伸びるということを改めて実感したところですよ。

また、この「算数・数学強化推進事業」は、子どもたちだけでなく、先生たちの算数・数学における児童生徒の個別実態に応じて指導できる教師の力量向上を図るための研修会(5日間)も行われますので、今後も期待できます。

この事業の指定は、今年一年限りのものですが、今後とも何らかの方法で継続し、実施学年の枠も広げていきたいと考えています。そのためには実施時期も夏休みにも限定せず、年間を通してやれる方法を考える必要がありますし、先生たちだけでやっていくことにも限界がありますので、その方法も考えなければなりません。その有力な手段の一つとして、地域のボランティアの方たちの協力を得る方法があります。「土曜塾」や「放課後教室」などを実施して効果を上げている豊後高田市の取組(8月号に掲載)などを参考に、どの子も伸ばすための実践に努めてまいりますので、今後ともご支援をお願いいたします。

「自立」をめざって

桂川東小学校 校長 諫山 秀代

桂川東小学校では、次のような子どもの姿をめざした教育活動を実践しています。

めざす子どもの姿

ひ ひとと人の関わりを大切にできる子ども
 が がんばり抜く心と体を持った子ども
 し しっかり学ぶ子ども

「合言葉は『自立』」

自分から進んで学習し、自分で自分を伸ばすことができる。そんな子どもを育てなくてはならないと考えています。

1・2年生に教えられた通りきちんと勉強する。時間や決まりを守る。



▲ 昨年の桂川東小学校運動会

3・4年生に進んで勉強する。善し悪しを、自分で判断し行動する。
 5・6年生に目標を決め自分を向上させる勉強をする。よりよい生活をするための行動を自分で決める実践する。

東小の子どもたちは、毎日の生活を「自立」に向けて、生き生きと頑張っています。

運動会では、今年度から赤・黄・青の3ブロックで競うことになり、6年生を中心に自分たちで企画・練習をします。

「自立」に向かって力を発揮する、カッコいい子どもをお見せできるのが楽しみです。

家庭や地域でも、がんばっている姿に応援をお願いします。